



よりよい町政へ

Q・小中学校の緊急連絡メールの状況を聞く

A・加入率は90%以上



熊沢 直紀 議員

Q 緊急メールの加入状況はどうか。

A 教育部長

各家庭3台まで登録でき、加入率は90%以上である。

Q 卒業生があるため、毎年更新と聞いているが、登録方法等はどうか。

A 教育部長

各家庭に配布されたIDパスワードを入力して、指定されたアドレスに空メールを送ることにより簡単に登録できる。

Q メール内容は緊急が多いと思うが、緊急度の低いメールもあるのか。

A 教育部長

ほとんど緊急のものと保護者にとって重要なお知らせで使用している。

Q 現在までに、この緊急メールによって、大いに成果があったことがあるか。

A 教育部長

台風などの災害時に、授業の有無や緊急時の保護者による引き取り下校に成果があった。

Q 希望があれば、防犯協会の方々や議員にも緊急メールを受け取ることができるとか。

A 教育部長

希望者があれば学校と教育委員会で相談をし、IDパスワードを提供する。

Q 緊急メールの運営費はどうか。

A 教育部長

学校教育課で予算計上されており、1校あたり年間10万5千円である。

Q その他、今後の対策があれば。

A 教育部長

地域の高齢者の方々による「地域の見守り隊」をお願いしたり警察署や防犯協会の方々に協力を要請しながら、100%の加入率を目指していく。



緊急メールが届いた

